



2022年

おすすめの本 高学年

過去3年間の出版物を中心に
市立須坂図書館職員が選びました。



ほん
本をよむのは だれのため？ おかあさんのためじゃない。
がっこうのせんせいのためでもない。たくさんたべて、せが
のびるように、たくさんよんで、^{おお}ころを大きくするため。
ぼくのため。わたしのため。

しかくいまち

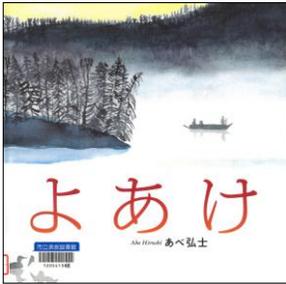
戸森しるこ/作 吉田尚令/絵 理論社



しかくいまちに流れついた男の子は、「しかくいひ
と」に助けられます。ぜんぜんちがうふたりがいつしよ
に過ごした、ずっとおぼえていたい時間。やがて、別
れがおとずれ、おとなになった男の子は……。

913ト

すぎかとしょかん



よあけ

あべ弘士/作 偕成社

木の葉が赤や黄にそまるころ、たき火をかこみ、じいさんから森の動物の話聞く。満天の星の下でねむり、目をさますと……大自然のなかでむかえる夜明けを、ドラマチックにえがいた美しい絵本。

Eアへ



アレにもコレにも！モノのなまえ事典

杉村喜光/文 大崎メグミ/絵 ポプラ社

金魚すくいであつかうアレ、とこやさんの前でグルグルまわっているアレ、パンのふくろをとじるアレ……アレにもコレにも名前があります。知っているようで知らないモノの名前が大集合！

031 入



ネコをひろったリーナとひろわなかったわたし

ときありえ/著 講談社

里菜子は小学6年生。好きなピアノをつづけるために音楽学校を受験するか迷っている。ある日、ピアノ教室の近くでリーナという女の子に出会う。リーナは、里菜子がひろわなかった黒いすてネコを飼っていた。

913ト



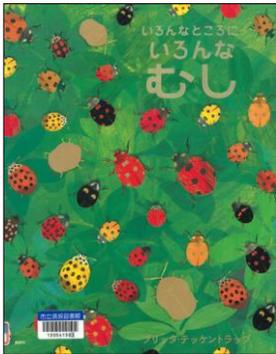
スティーブン・ホーキング

ブラックホールの謎に挑んだ科学者の物語

クラル、ブルワー/文 クリコフ/絵 さくまゆみこ/訳 化学同人

「車いすの物理学者」として有名なホーキング博士は、科学に革命をもたらすいっぽう、難病 ALS とたたかうすがたで、多くのひとを勇気づけました。

科学のえほん E クリ

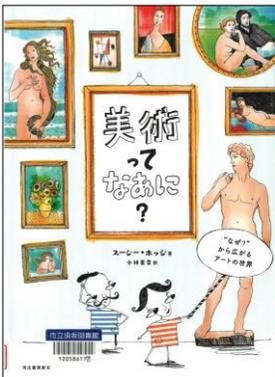


いろんなところに いろんな むし

テッケントラップ/絵 マリー/文 いたうむしひこ/訳 講談社

むしってどんないきもの？ どこにすんでいるの？
むしってこんなにきれいだったの！ 美しい版画の
むしたちと、くわしい解説が、まるで物語のような、
家族で楽しめる科学絵本。

科学のえほん E テツ



美術ってなあに？

“なぜ？”から広がるアートの世界

ホッジ/著 小林美幸/訳 河出書房新社

「どうしてはだかのなの？」「美術館ではしづかにしてなきゃいけないの？」美術の「なぜ？」を集めた
楽しい入門書。オールカラーの図版とわかりやすい
文章で、あらゆる世代におすすめ。

700 ホ

